



Fukagawa Rotary Club

R I 第 2510 地区第 1 グループ 深川ロータリークラブ

よいことの
ために
手を取りあおう



総会 / RC 財団・米山について

担当：財団・米山委員会

10月21日

(火)
N03073 第 12 回例会

大西道祥 PAG



例会案内

- 例会案内「10月～11月」
- 10月21日(火) ☀️ 地区大会報告
 - 10月28日(火) 🏢 国際奉仕委員会クラブフォーラム
 - 11月 4日(火) ☀️ クラブ奉仕委員会クラブフォーラム
 - 11月11日(火) 🌙 会員増強委員会担当例会
 - 11月18日(火) ☀️ 準法廷休会
 - 11月25日(火) 🏢 ロータリー情報 I

出席報告

10月7日例会

総会員数 30名 (出席免除者3名中0名出席)

欠席者数 10名 石川, 井上, 内山, 轡田
児島, 武田, 津田, 樋口, 宮岸, 山脇各会員

出席率 62,96%

前回メーキャップ 1人 宮澤幹事

前回修正出席率 88,89%

前例会幹事報告

- 清水副幹事
- 旭川 RC より創立 90 周年記念誌送付
 - ザ・ロータリアン誌の送付
 - 出村コーディネーターニュースの送付

スマイルBOX 162,000 円

- 飛弾野 P 会長 会員誕生
- 清水秀晃会員 会員誕生

会長挨拶

伊東由紀夫会長

本例会を深川ロータリークラブ内規第 1 条に
そって年次総会とさせていただきます。

次期役員・理事指名委員会を設立し、次期役員・
理事を選考することの承認をお願いいたします。

これにより直前会長は次
年度役員・理事を指名する
ためのパスト会長会を開催、
次年度役員・理事選考委員
会は、10月中旬までに役
員理事を決定します。その
後、会長エレクトは次年度
役員・理事会を開催し12
月クリスマス家族会までに
次年度役員・理事を発表し
ます。



10月の会員祝福



- 会員誕生 ■■■■■■■■■■
- 飛弾野貴広会員 昭和 43 年 10 月 16 日
- 夫人誕生 ■■■■■■■■■■
- 井上 利恵様 10 月 7 日
- 結婚記念 ■■■■■■■■■■
- 清水秀晃会員 平成 16 年 10 月 2 日
- 創立記念 ■■■■■■■■■■
- 大西 道祥会員 昭和 25 年 10 月 12 日
- 津田 尚也会員 平成 24 年 10 月 1 日

RC 財団・米山奨学委員会

大西洋太RC財団・米山奨学委員長

本日は、米山記念奨学事業の設立の目的と歴史、そしてRID2510の米山奨学事業の現状についてお話をさせて頂きたいと思えます。

1945年8月15日に終戦を迎え国民が、まだまだ救済物資に頼る生活を行っていた1949年に東京ロータリークラブを皮切りに大阪、神戸名古屋、静岡、札幌などが国際ロータリーへの復帰をしました。その時に、ロータリー財団が奨学事業を幅広く実施されているのを目の当たりにし、驚いたそうです。

そこで、日本のロータリアンもせめて日本にいる外国の留学生をときどき慰めやするような催しができないだろうかという考えがなつたそうです。

第600区(全国1区・現在の2580地区※沖繩分区分を含む)1952-53年度小林雅一ガバナール(1949年東京RC会長)。戦後なお、国際社会における日本への警戒心、反日感情は強かつた事を感じ、アジアの国々との友情こそが、今後の日本の生きる道ではないかと思つたそうです。

そうして1952年東京ロータリークラブの古澤文作氏によりアジアからの優秀な学生を日本に招き勉学を支援しようとする「米山基金」の構想が立ち上がり、現在の「ロータリー米山記念奨学金」でございませう。

米山記念奨学事業は国際理解と国際親善への近道

国際理解
多様な文化や生活をお互いに尊重することが、平和で、豊かな社会をつくる

ることを理解する

■国際親善
世界の人々との交流を深め、親善に努めようとする態度を養い、それぞれの国の文化や伝統を認め合いながら、お互いに尊重し合い助け合おうとする心情を育てる。

ロータリーの目的・・・ロータリーの友 横組6ページぐらいに毎回掲載第一 知り合いを広めることによつて奉仕の機会とすること・・・
第二 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにする
第三 ロータリアンの一人ひとりが、個人として、日々、奉仕の理念を實踐する
第四 奉仕の理念を結ばれた職業者が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する。

東京RCによる「米山基金」は、構想当初から全国組織化を視野に入れており1956年10月の第6062区(全国2区1953-56)の年次大会において地区内全クラブ(国内全クラブ)の合同事業として継承すと決議されました。

「ロータリーが貢献することのできる最も大なるものの一つは教育的援助であるがこのような企画は貴いものであり、かつロータリーの国際奉仕としてもっとふさわしい企であつて、その連続性が望ましい。」
よつて本大会は米山奨学資金を財団法人として全国的な組織となすべきことを茲に決議する。
1957年には全国組織ロータリー米山奨学委員会が組織されました。※

ロータリー7つの重点分野

- 1, 平和構築と紛争予防
- 2, 疾病予防と治療
- 3, 水と衛生
- 4, 母子の健康
- 5, 基本的教育と識字率の向上
- 6, 地域社会の経済発展
- 7, 環境の保持 精神的原点にある重点分野のNO5にあたる。

米山奨学会への寄付は大きく2種類です。クラブから会員数分を納める「普通寄付金」と、それ以外に、個人・法人・奨学会が財団法人を設立しようとした際、当時の文部省はなかなか首を縦に通ってくれませんでした。そこで、普通寄付金の確約を国内全クラブからもらい、安定財源とすることを約束したことに、ようやく財団法人の設立の認可が下りたという経緯があるもので、大切な役割を担っています。

深川ロータリークラブからは1名1500円、43,000円を送付しています。
「特別寄付金」は、任意でしていただくものです。通常1名10,000円単位で、こちらは個人やクラブ、法人の実績となり、表彰の対象となります。

米山奨学会への寄付は寄付金控除の対象となり、確定申告をすれば、所得税、法人税の税制優遇を受けることができます。
RID2510地区の目標は米山特別寄付金1人14000円となつております。本年も宜しくお願いいたします。



深川RC 例会運営委員会
 委員長 長谷川幸央
 副委員長 飛弾野貴広
 会長 伊東 由紀夫
 幹事 宮澤 孝 司
 会長エレクト 木村 喜芳
 副幹事 清水 秀晃
 副会長 寺島 康宏
 会計 廣上 晃士
 ■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川
 ■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
 プラザ深川3F TEL (0164)34-6228
 ■URL <http://mypage.fukanavi.com/rotary/>
 ■例会日 毎週火曜日
 ■姉妹クラブ 南海RC (韓国)
 ■第2510地区第1グループ
 ■Mail fukagawa-RC@club502.jp